

調 達 公 告

公募型コンペティション方式により弁当供給業務の受注者を選定するので、次のとおり公告する。

令和7年2月20日

鳥取県米子警察署長 土井田 淳

1 業務の概要

(1) 業務名 米子警察署留置施設被留置者給食弁当供給業務

(2) 業務の内容

米子警察署に身体を拘束されている者の食料（以下「弁当」という。）を、年間を通じて安全で確実に供給するものとする。

なお、詳細は米子警察署留置施設被留置者給食弁当供給業務に係る公募型コンペティション提案説明書（以下「コンペ提案説明書」という。）及び米子警察署留置施設被留置者給食弁当供給業務仕様書による。

(3) 契約期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(4) 弁当1食当たりの単価418円（消費税及び地方消費税の額を含む。）

(5) 年間予定数量 17,000食

2 参加資格

この公募型コンペティションに参加できる者は、次に掲げる要件をすべて満たす者とする。

(1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であること。

(2) 令和3年鳥取県告示第457号（物品等の売買、修理等及び役務の提供に係る調達契約の競争入札参加者の資格審査の申請手続等について）に基づく競争入札参加資格（以下「競争入札参加資格」という。）を有するとともに、その業種区分が食品類の食料品又はその他の委託等の給食に登録されている者であること。

(3) 本件調達の公告日から提案書提出期限までの間のいずれの日においても、鳥取県指名競争入札参加資格者指名停止措置要綱（平成7年7月17日付第157号）第3条第1項の規定による指名停止措置を受けていない者であること。

(4) 鳥取県西部地区に本店、支店、営業所等を有していること。

3 提案書の評価

提案書の評価は、米子警察署留置施設被留置者給食弁当供給業務提案書評価委員会（以下「評価委員会」という。）において、コンペ提案説明書で定める評価項目ごとに、別に定める評価基準、評価方法に基づき、各審査委員（5名）が採点を行う。

4 最優秀提案者の決定方法

評価委員会における評価に基づき、合計得点が最も高かった者を最優秀提案者として選定する。また、最優秀提案者以外の者についても、得点順に順位付けを行う。

5 手続き等

(1) 契約担当部局（提案書等の提出先及び問合せ先）

〒683-0004 米子市上福原1266番地4

鳥取県米子警察署会計課

電話 0859-33-0110（代）

(2) コンペ提案説明書等の交付方法

コンペ提案説明書その他の資料は、令和7年2月20日（木）から同月26日（水）までの日（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下、「休日等」という。）を除く。）の午前9時から午後5時までの間に(1)の場所で交付する。

(3) 提案書の提出

ア 提出方法及び提出先

本件業務に係る提案書の提出を希望する者は、コンペ提案説明書に基づき、提案書を作成し(1)の場所に持参又は郵便等により提出すること。ただし、郵便等による場合は、書留郵便若しくは民間事業者による信書の送達に関する法律（平成14年法律第99号）第2条第6項に規定する一般信書便事業者若しくは同条第9項に規定する特定信書便事業者の提供する同条第2項に規定する信書便の役務のうち書留郵便に準ずるものによることとする。

イ 提出期間

令和7年2月20日（木）から同年3月6日（木）までの日（休日等を除く。）の午前9時から午後5時までとする。

なお、郵送等による提出の場合は、提出期間内に到着したものに限り受け付ける。

6 最優秀提案者への通知

最優秀提案者を選定したときは、その結果をすべての提案者に通知する。

通知の内容は、評価委員会が必要と認める事項とする。

7 契約の締結

(1) 契約の相手方

4により最優秀提案者として選定した者と契約を締結する。

(2) 契約保証金

契約の相手方は、契約保証金として弁当1食当たりの単価に年間予定数量を乗じた金額の100分の10以上の金額を納付しなければならない。この場合において、鳥取県会計規則（昭和39年鳥取県規則第11号。以下「会計規則」という。）第113条第1項に定める担保の提供をもって契約保証金の担保に代えることができる。

なお、会計規則第112条第4項の規定により、契約保証金の全部又は一部を免除する場合がある。

8 その他

(1) 2の参加資格のない者が提出した提案書及び虚偽の記載がなされた提案書は、無効とする。

(2) この公募型コンペティションへの参加に係る一切の費用は、参加者の負担とする。

(3) 提案者から提出された書類等は返却しない。

(4) 提出書類は、鳥取県情報公開条例（平成12年鳥取県条例第2号）第9条第2項各号に掲げる情報に該当するものを除き、同条例の規定による公文書の開示の対象とするが、提案者に無断でこの公募型コンペティション以外の用途には使用しない。

(5) 詳細は、コンペ提案説明書による。

(6) 鳥取県議会令和7年2月定例会において本業務に係る予算（以下「予算」という。）が否決されたときは、評価委員会による審査を行わない。ただし、予算の議決が評価委員会による審査日以降となる場合には、議決前に評価委員会による審査は行うが、予算が可決されたときに契約の相手方の決定を行うこととし、また、予算が否決されたときは、契約の相手方の決定を行わないものとする。